

成蹊大学 2017 年度 公開シンポジウム開催のお知らせ**テーマ：「スポーツと国際貢献を考える—「競うこと」と「つながること」の先へ」**

成蹊大学（東京都武蔵野市、学長：北川浩）は、11月25日（土）に公開シンポジウム「スポーツと国際貢献を考える—「競うこと」と「つながること」の先へ」を開催いたします（成蹊大学アジア太平洋研究センター・成蹊大学東京オリパラプロジェクト共同主催、武蔵野市・武蔵野市教育委員会後援）。

スポーツを通じて多様な人々と交流し、よりよい相互理解や支援につなげていくためには何が必要なのでしょう。スポーツを通じた国際支援の当事者、トップアスリート、政策担当者、研究者らの知見から広く学び、考えます。当日のプログラムに関しては、下記をご参照下さい。

◆公開シンポジウム「スポーツと国際貢献を考える—「競うこと」と「つながること」の先へ」**【日 時】** 11月25日（土）14:00～17:30**【プログラム】**

14:00～14:15 <開会挨拶>

中江 桂子（成蹊大学文学部教授・アジア太平洋研究センター所長）

14:15～14:45 <基調講演>

「戦後アジアの夏季オリンピック開催と「東京 2020」の課題」

講演者：菊 幸一（筑波大学大学院人間総合科学研究科教授）

14:45～15:05 <講演>

「トップアスリートが行う難民支援から見えてきたもの」

講演者：宮嶋 泰子（テレビ朝日スポーツコメンテーター・国連 UNHCR 協会理事）

15:05～15:20 <休憩>

15:20～15:40 <講演>

「金メダル競争から経験する「つながり」の価値—スポーツと支援の関係について」

講演者：田知本 遥（リオデジャネイロ五輪女子柔道 70kg 級金メダリスト・ALSOK）

15:40～16:00 <講演>

「政府が主導する国際貢献事業「スポーツ・フォー・トゥモロー」について」

講演者：河原 工（日本スポーツ振興センター Sport for Tomorrow コンソーシアム事務局ディレクター）

16:00～16:20 <講演>

「国際貢献の向こう側：スポーツ援助の先に何が起こるのか？」

講演者：小林 勉（中央大学総合政策学部教授）

16:20～16:30 <休憩>

16:30～17:30 <ディスカッション>

- 【会場】 成蹊大学 6 号館 501 教室 （東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1）
JR 中央線・井の頭線「吉祥寺」駅より徒歩 20 分、
または吉祥寺駅北口①・②番バス乗り場から関東バスで約 5 分「成蹊学園前」下車
- 【参加費用/資格】 無料/どなたでもご参加いただけます。直接会場へお越しください。
- 【定員】 300 名（当日先着順）
- 【お問合せ先】 成蹊大学アジア太平洋研究センター
TEL: 0422-37-3549 E-mail: caps@jim.seikei.ac.jp

※お申込みの必要はございません。直接会場へお越しください。

※シンポジウム内容・シンポジスト・会場につきましては、止むを得ず変更になる場合がございます。

本件に関する報道機関からのお問合せ先

成蹊学園 企画室 広報グループ

TEL.0422-37-3517 FAX.0422-37-3704 E-mail.koho@jim.seikei.ac.jp